

< 目 次 >

- 1 【 実践事例 】 「奥中山地区実践区（一戸町）」《家庭学習の充実》
  - 2 【 家庭学習 】 大人の務めとして
  - 3 【 教振は今 】 教ちゃん、振ちゃん見聞録
  - 4 【 みんなの声 】 ペっこ言い隊
  - 5 【 編集後記 】 あつしのひとりごと
- 

1 【 実践事例 】 「奥中山地区実践区（一戸町）」《家庭学習の充実》

奥中山地区実践区では、家庭学習をおこなうことの意味や現状について、学校と家庭で共通理解を図った上で、「家庭学習5つの約束」に取り組んでいます。平成19年度調査では、家庭学習を「ほとんどしない」、「30分未満」という5・6年生が42%もいたということですが、この取組をはじめてから、「1時間しっかり勉強が出来るようになった。」など、大きな成果をあげています。

事例は⇒[http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/jirei\\_okunakayama.pdf](http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/jirei_okunakayama.pdf)

---

2 【 家庭学習 】 大人の務めとして

「言いたいことが書けない」、「原稿用紙の半分も埋められない」。それは、小学校や中学校に限った問題ではありません。また、「変な日本語になってしまう。なので、理解を深めたい」と、話し言葉の文章となってしまうのも同様です。

小学校の時から勉強といえば暗記で、高校や大学受験も暗記中心。いざ、自分の考えを文章にする課題が出されても、書くことができない。仕方がないので、インターネットで検索した文章をつなぎ合わせることに……。このような若者を、誰が責めることができるでしょう。教育とは何かを考えさせられます。

「読書離れが深刻で、文章力を支える読解力が弱い」ということは、国際学習到達度調査（PISA；対象15歳）における日本の読解力の成績からも明らかです。2000年8位、2003年14位、2006年15位と、順位を下げ続けています。

読書は、自らが能動的に働きかけないと情報は入ってこない行為ですので、脳は活発に働きます。それに対し、テレビやインターネットは、受動的に入ってくる情報媒体ですので、読書と比べて脳はそれほど働く必要がありません。また読書により、問題を理解する力、自分の考えを文章で表現する力、深く思考する力が培われるのみならず、心の安らぎまでも得ることができます。読書によって、学力の基礎が形成されるのです。

「ノーテレビ・デーを設け、家庭でも読書をしましょう。」と取り組んでいる学区が多くなってきていますが、その理由や必要性も併せて共通理解をすることが大切です。今年度の岩手県学習定着度状況調査を終えた今は、その結果をもとに保護者・学校・地域における取組の成果を確認しながら、再度共通理解を図るいい機会です。

今も昔も、子どもは変わりありません。変わっているのは子どもではなく、子どもを取り巻く環境であり、その環境から子どもを守っていくのが、保護者・学校・地域の大人の務めです。育てたように子どもは育つのです・・・。

---

### 3【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録

- (教ちゃん) すっかり、秋ね。  
(振ちゃん) そうだね。教ちゃんの好きな「食欲」の秋だね。  
(教ちゃん) 失礼ね。それは、振ちゃんでしょ。私が言いたいのは、「読書」の秋よ。今日で読書週間は終わってしまうけど、これからも本に親しんで欲しいわ。  
(振ちゃん) そういえば、この前、中学生のお兄さんとお姉さんが読み聞かせをしてくれたんだよ。うれしかったな。  
(教ちゃん) 「子育てに活かす読書活動推進フォーラム」でのことね。雫石中学校のお兄さんとお姉さんや、盛岡大学短期大学部のお姉さんが、読み聞かせをしてくれたのよね。  
(振ちゃん) うん。それに、不来方高校のお姉さんや飯岡中学校のお姉さんがボランティアとしてお手伝いをしていたんだ。  
(教ちゃん) お兄さんやお姉さんが、読書活動に取り組んでいる姿を見ていると、私たちも「読もう」という気持ちになるわ。  
(振ちゃん) 僕たちの小学校の近くにある中学校のお兄さんやお姉さんも、小学校に読み聞かせに来てくれたらうれしいな。  
(教ちゃん) そういう小学校と中学校のつながりも楽しそうね。  
(振ちゃん) そうなると、もっと中学校を身近に感じるができるよね。
- 

### 4【みんなの声】ぺっこ言い隊

いつもお世話になっております。一つご相談なのですが、教振メルマガを当市内 16 地区にある交流センター（地区公民館を改編した施設）に直接配信していただくことは可能でしょうか。

通常は当方から転送していますが、休暇や出張と重なると転送が遅くなってしまふからです。可能であれば改めて各センターのアドレスをお知らせします。

(K市Gさん)

⇒ ありがとうございます。より多くの方に、このメルマガを読んでもらいたいと考えています。直接、送信することは大歓迎です。こちらから、お願いしたいところです。ありがとうございます。

---

#### 4 【編集後記】あつしのひとりごと

今年度、県内3か所で「中高生のための読書ボランティア研修会」を開催しました。講習の中で読み聞かせをしたところ、中高生は食い入るように聞いてくれていました。

10月29日付の読売新聞に、4年前から国語の授業で読み聞かせをおこなっている徳島県の中学校の記事が掲載されていました。授業の始めに、先生が絵本を読み聞かせを始めると、生徒の視線が集まって、笑ったり息を飲んだり。「人の話を聞く姿勢につながり、授業の集中力も増した。」ということです。

絵本は、小さな子どもだけに向けたものではありません。中学生だってお話は大好きです。今、胆沢・江刺地区の読書ボランティアが、中学校で読み聞かせをおこなっています。また北上地区では、すべての中学校において読書ボランティアの取組が始まっています。全県の中学校に広まってほしいものです。

⇒ 第33号は、11月24日（水）配信です。（23日は勤労感謝の日！）

★メルマガの感想や日頃思っていること、意見・要望をお寄せください。

⇒ [21kyoushin@gmail.com](mailto:21kyoushin@gmail.com)

★平成21年度配信のバックナンバー（第1～17号）はこちら。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/index5.html>

★平成22年度配信のバックナンバー（第18～26号）はこちら。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/index8.html>

★平成21年度「家庭学習」と「読書推進」の実践事例はこちら。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/index3.html>

★平成22年度「家庭学習」と「読書推進」の実践事例はこちら。

⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/index6.html>

～～～配信元～～～

＊ 岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化課

＊ 発行人：教育振興運動担当 佐藤敦士（さとう あつし）

転送はご自由です。どんどん転送してください。口コミは、あなたから始まります。「みんなでやろう！」という雰囲気をおあなたから作りだしてください。

～～～